

Fortran Builder 6.1 新機能ご紹介

診断機能が更に強化されました！

- 実引数と仮引数で文字関数長が一致しない場合の検出（明示的引用仕様利用可能時）
- C_LOC 関数利用時のゼロの配列サイズの検出
- 配列実体経由で NOPASS 属性の型束縛手続を参照した場合の検出
- SIGN 組込み関数においての整数オーバーフローの検出
- 要素別処理手続きで配列形状の不一致の検出力強化

新たなテンプレートプログラムが追加されました！

一連のコンソールテンプレートプログラムが追加されました。これにより頻繁に利用される様々な処理がいち早く実現できるようになりました。

- Fortran Tip 集 プログラム各種
- モジュールを利用する例
- POSIX 関数を利用する例
- OpenMP を用いた簡単な並列プログラムの例
- C との相互利用可能性の例

精度の統合化ツールが追加されました！

精度の統合化ツールはユーザプログラムの浮動小数点演算の精度（例：単精度、倍精度、4倍精度）を統合するツールで、浮動小数表現に種別指定子として名前付き定数を追加します。これによりお持ちのプログラムの一箇所のみの変更で単精度、倍精度、4倍精度の切り替えができるようになります。またこのツールではパラメータおよびモジュールの名前が指定可能です。（デフォルトではそれぞれ 'wp' と 'working_precision' です。）

新しい Fortran (Fortran 2015 一部含まれます) の機能が追加されました！

- SIGN 組込み関数が実数、整数の異なる種別でも利用できるようになりました。
- 純粋副プログラムで ERROR STOP 文が利用できるようになりました。これにより純粋副プログラムからのエラーメッセージをわかりやすいものにすることが可能です。

- 丸め編集記述子がサポートされました。
- 派生型の長さ型パラメタがサポートされました。
- 複素数の実部と虚部をそれぞれ%IM、%RE を用いて参照できるようになりました。
- FORALL 構文で省略可能な型指定子を用いて型と種別を指定できるようになりました。
- ベッセル関数 (BESSEL_J0, BESSEL_Y0, BESSEL_J1, BESSEL_Y1, BESSEL_JN, BESSEL_YN) がサポートされました。

ツールの変更

- ソース整形のオプションで FORMAT 文に含まれる省略可能なカンマの挿入および削除の設定が行えるようになりました。
- また、継続行を示すアンパサンドの右整列を指定するオプションが追加されました。

プロジェクトの設定における変更点

“コンパイル順序の最適化を行う”オプションは常に有効となるため削除されました。

プロジェクトがサポートするライブラリのアップデート (以下 Windows 版のみの情報)

- LAPACK アプリケーションプロジェクトは LAPACK バージョン 3.6.0 を利用するようになりました。
- Simdem アプリケーションプロジェクトは Simdem バージョン 7.1.5 を利用するようになりました。
- NAG Lib アプリケーションプロジェクトは従来より新しい NAG Fortran Library をサポートするようになりました。
 - Windows 32-bit: Mark 24 FLDLL244ML, FSW3224DCL; Mark 25 FLDLL254ML
 - Windows 64-bit: Mark 24 FLW6I24DCL, FSW6I24DCL, FLW6I24DDL, FSW6I24DLL; Mark 25 FLW6I25DCL